

令和4年度 玉川どんぐり保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

元気いっぱい 笑顔いっぱいのおひさまになろう

- ①明るいあいさつ ニコニコ笑顔のおひさまっ子
- ②たくさん遊んで まっかなおひさまっ子(園庭や戸外で、思いきり遊んだり自然に親しんだりできる子)
- ③話の聞く力の高い 心豊かな かしこいおひさまっ子
- ④友だちの中で育つ やさしく たのしいおひさまっ子

2. 本年度の重点目標

- ①子どもの「やりたい」「やってみたい」を大切に
- ②「自由遊び」や「戸外活動」を大切に
- ③「絵本」を大切に

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	B
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	C
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・コロナ禍ではあるが、できる範囲の中で工夫し園運営をしている。
- ・感染レベルが高い時期が続き、参観日等で直接保護者等との話ができない分、園からの情報発信が重要になってくるのではないかと。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・今年度もコロナウイルス感染拡大防止の為、行事の内容の変更、保護者を含めた園児以外の園への立ち入りを規制しながら過ごした1年だった。その為、保護者を含め外部への発信が少なくなってしまった。
- ・地域の方々に向けては、茅野市とのつながりを大切にして行くとともに、ホームページ等を利用し、子どもたちの笑顔をより多く伝えられるよう工夫していきたい。
- ・1年間試行錯誤していく中で、今できる保育を精一杯行い、子どもたちを笑顔にすることができたのではないかとされる。規制の緩和により、以前と同じようにという要望が増えることが予想されるが、コロナ禍での保育で学んだことを生かせるよう、全てを4年前に戻すのではなく、子どもの成長を伝えながら子どもたちがよりよい環境の中で過ごせるよう、保護者への理解を求めていきたい。